

## 私たちの教会について

竹の塚ルーテル教会は、1950 年代後半にアメリカのルーテル教会の宣教師たちによる東京北部の伝道活動の中で始められたいくつかの家庭集会から、1960 年に「足立ルーテル伝道所」が発足、その後「北東京ルーテル教会」時代を経て、1981 年に名称を「竹の塚ルーテル教会」とし、現在に至ります。現会堂は 1985 年に建てられたものです。

私たちは日曜日ごとに教会学校、礼拝や交わりのために教会に集いますが、週日も、聖書会や手話の会などを行っています。

私たちは、日本ルーテル教団(<http://www.jlc.or.jp/>)に所属する教会です。埼玉の浦和ルーテル学院(小・中・高)、聖望学園(中・高)は教団傘下の学校であり、ルーテル学院大学などとも関係をもっています。

## 「ルーテル教会」とは？

“キリスト教会”という言葉はよく耳にされると思います。キリスト教会は世界中で、「神は、その独り子(イエス・キリスト)をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(聖書)という、神さまの愛と恵みによる救いを、福音[喜びの知らせ]として伝えています。

この“キリスト教会”の中にはいくつかのグループが存在しますが、16 世紀にヨーロッパで起こった「宗教改革」以降、カトリック教会とプロテスタント教会と呼ばれる大きなグループが生まれました。

「ルーテル教会」は、プロテスタント教会というグループの最初期から存在する教会で、「ルーテル」という名称は、宗教改革の先駆者マルティン・ルター(ルーテル)に由来しています。



## \*\*\*集会のご案内\*\*\*

いずれの集会もどなたでもご参加いただけます。

—日曜日—

◆教会学校(幼児～中高生) 午前 9:15-10:00

◆主日礼拝(第 1・3 聖餐式) 午前 10:30-11:40

—平 日—

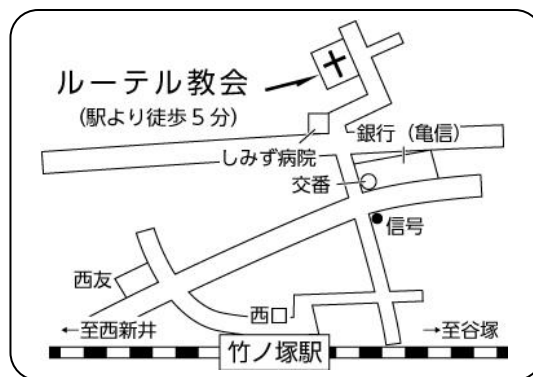
◆水曜聖書会 水曜午前 10:30-11:30

※第 1・3 水曜は教会での対面

※第 2・4 水曜は Zoom オンライン

◆手話の会 第 4 土曜午前 10:00-11:30

\*このほか、随時、洗礼の学びや教理入門などの用意もごさいます。お気軽におたずねください。



東武スカイツリーライン(伊勢崎線)竹ノ塚駅より徒歩 5 分

〒121-0823 東京都足立区伊興 3-18-7

TEL. 03-3899-2529/FAX. 03-3897-3987

E-mail: [takenotsukachurch@live.jp](mailto:takenotsukachurch@live.jp)

<https://takenotsuka.church>

Facebook, Instagram, YouTube

@TakenotsukaLutheranChurch

牧 師 えもと しんり 江本真理 Rev. Shinri Emoto

日本ルーテル教団

## 竹の塚ルーテル教会

Takenotsuka Lutheran Church

## ～教会案内～

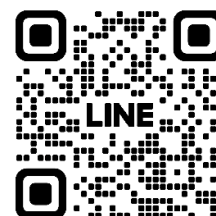


教会 HP, YouTube 等



竹の塚ルーテル教会

LINE 公式アカウント



竹の塚ルーテル教会 LINEアカウント

—2024 年 4 月更新版—

## 「わたしについて来なさい」と言われるイエスさまに

私たちは毎日の生活の中で、いろいろな「招きの言葉」を受けて過ごしています。

自宅にいても、電話や訪問などでの新製品の紹介や、お得なサービスが始まりましたといった勧誘など、いろいろな「招きの言葉」が飛び込んできます。

ほかにもテレビや新聞での宣伝、各種のメール、FAXによるお知らせ、街中に立つ看板、呼び込みなどを入れれば、数えきれないほど多種多様な「招きの言葉」が、四六時中、私たちを取り囲んでいます。

そうしたおびただしい「招きの言葉」の中で、生涯にわたって私たちに関係するような呼びかけがどれほどあるでしょうか。実際それは多くはありません。むしろごくわずかです。

そうした全生涯に関係する大切な招きとして、神さまからの招きがあることを、聖書は私たちに教えています。私たちの生涯に及ぶ神さまの導きの恵みを伝える招きの言葉です。

「あなたたちは生まれた時から負われ、胎を出た時から担われてきた。同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで、白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。」(イザヤ書 46 章 3-4 節)

このような神さまの恵みに与かることへと招かれているのは、ほかならぬあなたです。

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。」(ヨハネの黙示録 3 章 20 節)

自分の生涯にかかわる本当に大切な招きの言葉にこそ耳を傾けることができるとしたら、そしてその招きに与かることができるとしたら、それはどんなにすばらしいことでしょうか。「わたしについて来なさい」と呼びかけてくださっているイエスさまの声に、あなたもこころの扉を開いていけますようにと、お祈りしています。



## どうして教会に来るの？

「教会」という言葉には二つの意味があります。一つは、教会の「建物」のことを指します。そしてもう一つは、イエス・キリストを信じる人々の「集まり」を意味します。

私たちは「教会」と呼ばれる建物に集まりますが、本当の意味での「教会」とは信仰者の集まりのことなのです。私たちは一緒に神さまに祈り、感謝の讃美をささげ、神さまのみことばを生きる糧としていただくために共に集うのです。

教会のもう一つの大事な面は、他の人たちと生活を分かち合うということです。“喜びは分かち合えば倍、悲しみは分かち合えば半分”と言われたりします。

聖書では「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」と言われ、またイエス・キリストご自身も示してくださったように、互いに喜びや悲しみを分かち合い、励まし、支え合っていく—それが「教会」なのです。



## 礼拝とはどのようなもの？

「礼拝」というのは、私たちが一緒に神さまに祈り、神さまを讃美し、神さまに感謝をささげる機会です。そしてまた、神さまのみことば(メッセージ)を聞き、神さまからの祝福と恵みをいただいて、一週間の歩みへと踏み出していく力を与えられる場です。

礼拝は、聖壇のロウソクに点火されて始まります。式次第にしたがい、讃美歌を歌い、祈り、聖書を朗読します。また、聖書のみことばに基づくメッセージ(説教)が語られます。神さまへの感謝の気持ちをあらわすものとして献金があります。月に二回(第一と第三日曜日)は、礼拝の中で聖餐式が行なわれます。



## 礼拝のときには・・・

「礼拝」は毎週日曜日に行われます。どなたでもご参加いただけます。はじめて礼拝にお出になるときには、戸惑うことも多いと思います。礼拝に出席される際に知っておいていただくとよいと思われることを、以下に記します。このほかに何かわからないことがありましたら、受付などでおたずねください。

- ◆日曜日の礼拝は午前 10 時 30 分から始まります。
- ◆礼拝で使用する「聖書」と「讃美歌」は、こちらで用意がごさいます。
- ◆礼拝堂入口の受付から、聖書と讃美歌、『礼拝式文』、週報などをお取りください。
- ◆礼拝堂の座席はどこに座られても結構です。
- ◆礼拝の式次第は「週報」に書かれています。もしわからないことがありましたら、どうぞ遠慮なく近くの方に声をおかけください。
- ◆礼拝中で行われる「献金」は、神さまへの感謝の気持ちをあらわすものです。ご用意がありましたら、回ってくる“献金かご”の中にお献げください。
- ◆「聖餐式」の際、神さまの祝福をお受けになりたい方は、牧師のアナウンスに従って前にお進みください。
- ◆礼拝中の私語はご遠慮ください。
- ◆礼拝中、携帯の電源はお切りいただくか、マナーモードにしてください。
- ◆お手洗いは一階と二階にあります。
- ◇日曜礼拝は YouTube でライブ配信しています。

※感染症予防の観点から、上記とは異なる対応をとる場合がありますことをご了承ください。なお、礼拝に参加される際のマスク着用は求めておりません。